

18. サボテンの世界

四天王寺東高等学校・中学校 自然科学部

1. 子どもたちへのメッセージ

「サボテン」は、サボテン科の植物の総称で、2000種類以上あります。サボテンの特徴といえば、肉厚のからだとそこから伸びる棘(とげ)です。特に、棘の部分は葉や茎が変化したものと考えられています。今回は、ホームセンターなどでも簡単に手に入る種類のサボテンについて、細部の観察をしてみましよう。

2. よういするもの

各種のサボテン、ルーペ(虫メガネ)、カッターナイフ

3. やりかた

市販のサボテンを数種類準備し、棘の部分をルーペで拡大して観察します。さらに、厚みのある葉または茎の一部を切り取り、断面をルーペで拡大して観察します。

4. わかること

サボテンの種類によって、棘の色や形、かたさに違いがあることが分かります。また、多くのサボテンについて、葉や茎の厚くなっている部分に多くの水分が含まれていることから、乾燥した場所でも生きていける仕組みになっていることが分かります。

5. 気をつけよう

サボテンの中には、するどい棘をもったものがあります。手に刺さって、けがをしないように注意してください。また、カッターナイフの取り扱いにも注意しましょう。

6. 問い合わせ先

四天王寺東高等学校・中学校 吉田 正

TEL : 072-937-2855 t-yoshida@shitennojigakuen.ed.jp

7. 参考になる資料

「2300種 カラー図鑑 世界の多肉植物」佐藤 勉 著 (誠文堂新光社)